

弊社商品に関する一部報道について（追）（2008/02/26）

平素は弊社の商品を御愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

このたび弊社の商品「お徳用ひとくちサイズのいか天ぷら」のうち賞味期限 2008 年 7 月 20 日（製造日 2007 年 7 月 20 日）につき、弊社お取引先様である「生活協同組合連合会ユーコープ事業連合」（以下ユーコープ）の自主検査において、有機リン系農薬であるジクロロボスが 0.11ppm 検出されたとの内容で、2008 年 2 月 24 日に報道がなされております。

現在、この報道を受けて事実および原因を調査中ではございますが、すでに同一商品の他の賞味期限の商品および、同一工場で製造された他の商品につき、原材料も含め複数の自主検査を実施しており、現時点におきましては、ジクロロボスを含む農薬はいっさい検出されておられません。

さらに、当該加工品は、食品衛生法上残留基準値の設定がなされておられません。

当該商品には原材料としての「いか」が50%程度、「小麦粉」が21%程度配合されており、食品衛生法では「いか」に関するジクロロボスの残留基準値が0.01ppm、「小麦粉」では1ppmとなっております。

ポジティブリスト制度では、このような加工食品については、原材料基準への適合性から判断することとされています。このため、当該商品でジクロロボスが0.11ppm検出されたことをもって食品衛生法違反と判断することは困難です。

なお、仮にイカ及び小麦粉などの原材料の基準値まで残留していたと仮定し、製造時の減衰等を考慮せず配合割合で単純に試算すると、当該製品では最大で約0.2ppm($0.01\text{ppm} \times 50\% + 1\text{ppm} \times 21\% \doteq 0.2\text{ppm}$)の残留が想定されます。

また、ジクロロボスは多くの穀物野菜果実などで使用が認められており、それらの残留基準も多くのもので 0.2ppm 以上の基準値が設定されていることから 0.11ppm という数値は、そのまま食されても健康に影響を及ぼすことはないものと判断し、弊社では現時点での当該商品の自主回収は行っておられません。

しかしながら、再検査による検証を進める必要性と、お客様への不安を拡大させないことを目的に、販売先を特定した上で、該当商品（賞味期限 2008 年 7 月 20 日）の販売を中止しております。

お客様、並びにお取引先様の皆様にご心配、ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

今後は従来にも増して一層生産管理の徹底に努める所存でございますので、何とぞご理解を賜りますと共に、今後とも弊社製品へのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2008 年 2 月 24 日
マルハ株式会社